令和４年度

家庭教育支援者研修会
兼　非認知能力育成支援講座①

１　目　的：　夢や目標を見つけ挑戦する力を養うために必要な「非認知能力」について、「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーターや各市町村で活動中の家庭教育支援関係者、子育て中の保護者等が学び、家庭教育の充実を図る。

２　主　催：　岡山県教育委員会

３　日　時：　令和４年５月17日（火）１３：３０～１６：３０

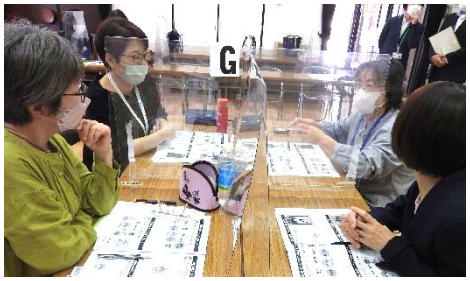
４　会　場：　津山市中央公民館

５　参加者：　家庭教育支援に関わる方・関心のある方、ファシリテーターとして活動中の方、幼稚園・保育園・こども園の保護者、生涯学習・社会教育行政職員　等

６　日　程：

開会行事	１３：３０～１３：４０
自己紹介・情報交換	１３：４０～１４：００
講義・ワークショップ 『非認知能力「レンズ」で“いいとこ”みっけ！』	１４：００～１６：００
振り返り	１６：００～１６：２０
閉会行事	１６：２０～１６：３０

「非認知能力とは何か」主体的に学びました。



具体的な子どもの声かけについて交流しています。

何気ない行動に見える**“いいとこ”**を考えました。

参加者の声

○「非認知能力」と聞くと難しいイメージがありましたが、子どもの具体的な場面をイメージすることで、よく理解することができました。

○明日からの子どもへの声かけも、“タイミング”“いいとこみっけ”“わかりやすく伝えること”を意識して、非認知能力を伸ばせるよう関わっていけたらと思いました。

○子どもの「いいとこ」を見つける視点や、ほめるポイント（プロセスをほめる）などが意識できてよかったです。子どもたちと日々関わる中で、今日学んだ声かけを実践していきたいと思いました。

○「非認知能力」という言葉がよくわからないと思っていたのですが、理解できたように思います。『関心をもって声をかける』『声かけの時にいいとこみつけをする』『よいタイミングで具体的な声かけを行う』ことを意識していきたいと思いました。